

どんぐり保育園

園だより

2025, 8月号

Eメール donguri_mori@cup.ocn.ne.jp

ホームページ <http://minnanomori.jp>



平和ってなんだろう～語り合いながらいのちについて考えよう～

今年は「いのちについて考えよう」を平和のテーマにしました。保育園の玄関には子どもが産まれた時の思いを書いたハートが少しずつ飾られています。玄関がたくさんのお愛で包まれますように。

子どもたちは各クラスで生き物の捕まえたり、飼育をする中で、生き物に触れながら“いのち”を感じています。先月、事務所で飼っているカナヘビが卵を産み、その卵が孵りました。卵が孵った瞬間を撮影し、子どもたちと見ました。年長クラスではその誕生の意味がよくわかるようで、生まれた瞬間「わあ～」という歓声とともに「おめでとう」と拍手が起こりました。人間の赤ちゃんが誕生した時のような喜びに包まれ私も嬉しい気持ちになりました。子どもたちは毎日「カナヘビげんき？」と様子を見に来てくれたり、餌を運んでくれたりしてくれています。また、生き物に触れるということは誕生の瞬間を経験することもある、死に直面することもあります。その度に、子どもたちはそのいのちと向き合い様々な経験をしています。生活の中で飼育や栽培の実体験から、命の大切さを知り、自分の命も人の命も大切にする心を育てていきたいと思っています。

“平和ってなんだろう” 毎年8月は子どもたちと「平和のつどい」を通して平和について触れる1ヶ月にしています。「平和って〇〇」と一言では言い表せません。平和に感じることも人それぞれ違いますし、違っていいと思います。その思いを子どもや周りの人たちと一緒に考え、語り合うことが大切だと思っています。子どもたちともつどいの中で語り合います。家庭でも平和について語り合う機会を設けてもらえると嬉しいです。日常の中で「幸せ」「嬉しい」「楽しい」と感じることはあっても「平和だな」と感じる機会は少ないのではないかと思います。でも、「平和」について考えてみると、日常の当たり前のこと（ごはんが食べれること、遊べること、“うれしい” “幸せ”を感じる思い、子どもの笑った顔を見るだけで心が温くなる瞬間）等も平和につながっていることを感じます。

子どもたちが安心できる毎日とは ～人権が尊重される毎日を～

笑って過ごす毎日。泣いたり、怒ったり、叫んだり、どんな自分の思いも安心して表出ができ、それを受け止めてくれる人がいる毎日。子どもたちは保育園の中で色々な毎日を過ごしています。私は子どもたち一人ひとりがどんな自分も愛され、認められ、自分が大好き、人が大好きな子に育ってほしいと思っています。そして、どんなに小さな子どもであっても、生まれた瞬間から人権があり、子どもの人権が蔑ろにされない世の中であってほしいと思います。保育園の中でも子どもたちは色々な表現で思いを出します。一生懸命伝えようとしている子どもたちの思いを立ち止まって受け止め、寄り添い、問題があれば一緒に考える。そんな保育を大切にしていきたいと思っています。そして、どんぐり保育園が子どもたち、大人にとっても安心できる場所であり続けたいと思います。

今年は戦後80年を迎えます。戦争を経験していない私は戦争を語ることはできませんが、戦争は絶対に起こしてはいけないことと伝えることはできます。子どもたちの未来を守っていくのも今の私たち大人の役割です。日本では80年戦争は起こっていません。これからも戦争のない日本がずっとずっと続きますように。そして、世界中から戦争がなくなことを願います。